

プレオおよびルクラのリコールについて

平成 25 年 12 月 4 日

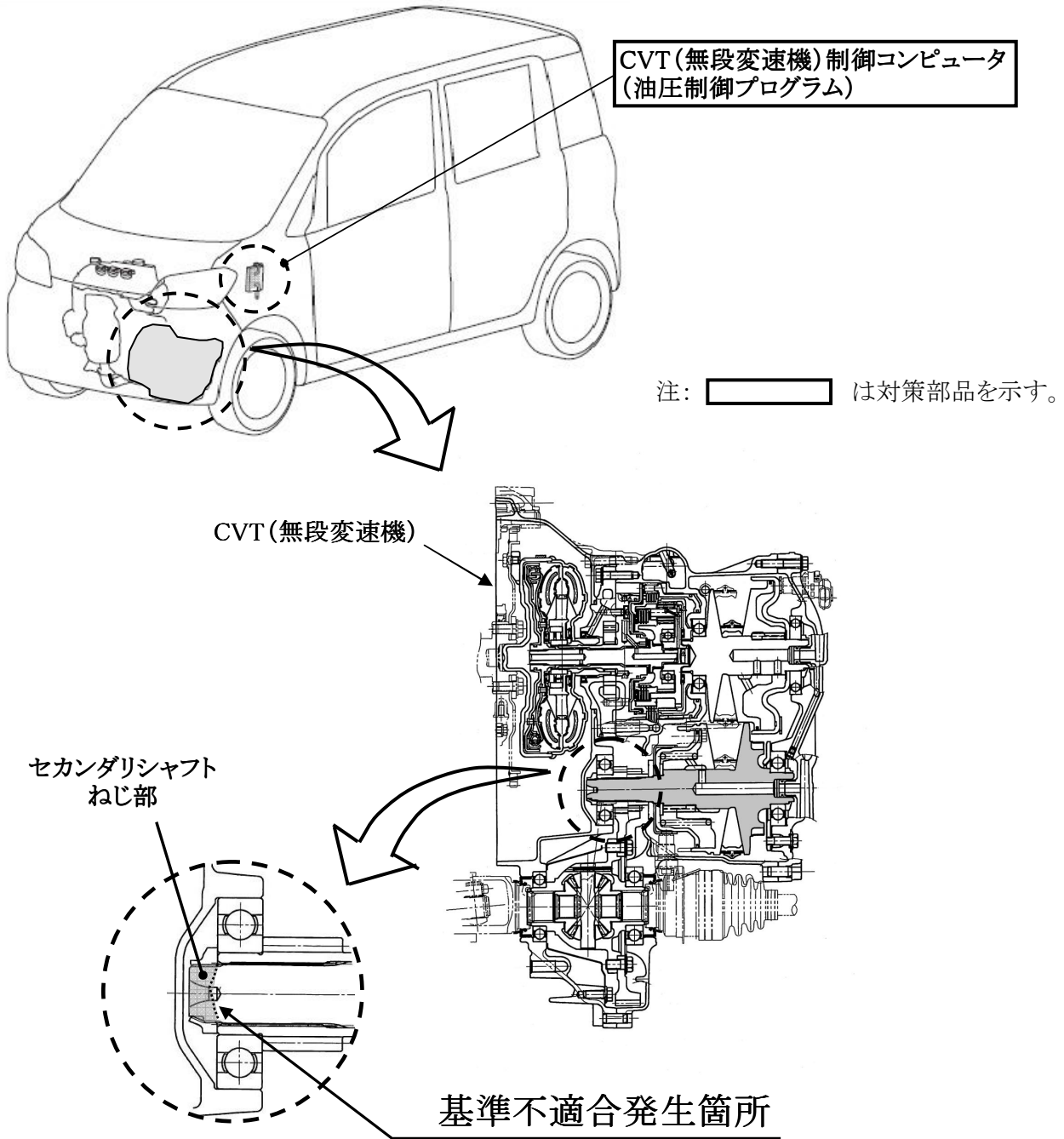
平成 25 年 12 月 4 日、富士重工業株式会社にプレオ、ルクラを供給しておりますダイハツ工業株式会社より、国土交通省へ下記内容のリコールを届け出ました。

リコール届出番号	3267	リコール開始日	平成 25 年 12 月 5 日
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置(セカンダリシャフト)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	CVT(無段変速機)の油圧制御プログラムが不適切なため、シフト操作とほぼ同時にアクセルを踏み込む急な発進操作を行った場合やエンジンを空吹かしする等、高回転状態からイグニッションスイッチを切る操作を行った場合にCVT内に高油圧が発生し、セカンダリシャフトに想定以上の負荷が加わることがある。そのため、そのような操作を繰り返すと当該シャフトが破損して、走行不能となるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、CVT制御コンピュータの油圧制御プログラムを変更する。		

車名	型式	通称名	対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	CBA-L275F	プレオ	L275F -0000119～L275F -0002213 平成22年4月5日～平成22年10月12日	48	無段変速機仕様車が対象
	CBA-L285F		L285F -0000141～L285F -0000641 平成22年5月12日～平成22年9月23日	15	
	CBA-L455F	ルクラ	L455F -0000060～L455F -0005854 平成22年4月1日～平成22年10月14日	297	
	CBA-L465F		L465F -0000058～L465F -0001278 平成22年4月1日～平成22年11月3日	191	
	(計4型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成22年4月1日～平成22年11月3日	(計 551 台)	

※対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

# 改善箇所説明図



CVT(無段変速機)の油圧制御プログラムが不適切なため、シフト操作とほぼ同時にアクセルを踏み込む急な発進操作を行った場合やエンジンを空吹かしする等、高回転状態からイグニッションスイッチを切る操作を行った場合にCVT内に高油圧が発生し、セカンダリシャフトに想定以上の負荷が加わることがある。そのため、そのような操作を繰り返すと当該シャフトが破損して、走行不能となるおそれがある。

## 改善の内容

全車両、CVT制御コンピュータの油圧制御プログラムを変更する。

## 識別

運転者席ドアチェッカーのボデー取付け部上側に黄色ペイントを塗布する。